
『神さまとゲーム脳と過守護な殺戮竜の物語』の登場人物紹介

ゼロ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『神さまとゲーム脳と過守護な殺戮竜の物語』の登場人物紹介

【Nコード】

N8676V

【作者名】

ゼロ

【あらすじ】

小説家になろうにて連載中の『神さまとゲーム脳と過守護な殺戮竜の物語』の登場人物を紹介するページです。

ネタバレが有りますので、それらを嫌う人はご注意ください。

浅倉 もこ (一章終了時点)

一章終了時点までのネタバレを含みますのでご注意ください。

浅倉 もこ 17歳

LV・12

1stジョブ オタクゲーマー

2ndジョブ かけだし魔法使い

3rdジョブ なし

スキル

コンティニュー (0/1)

ゲーム脳

魔法LV・1

アイテム

マップ機能付き携帯電話 (周辺の地図とプレイヤーの位置が表示される)

元の世界ではゲーマーな女子高生。

小学生の頃に両親、その後引き取ってくれた祖母と死別しており、親戚に生活費を貰いながら一人暮らしをしていた。

大のゲーム好きかつ、やり込んだゲームでは名人級のプレイヤーとして有名で、ゲーム脳の効果（後述）によりボウガンの扱いに関しては神業的な技量を持つ。

また、作戦を立てる時の考え方で“これがゲームならどうするか”と考えている。これだけ聞くと危うさを感じるが、そうやって立てる作戦は極めて合理的かつ効果的で、しかも思考が凄まじく早い。

ただ、ゲームばかりやってきたため生活はだらしく、食べ物はいんスタントばかりだったらしい。なので料理は全然できない。

ゲームに参加させられた当初は異世界召喚やフィロとの出会いにはしゃいでいたが、マキナの用意した“試練”に心をへし折られる。その時フィロに慰められたのをきっかけに百合に目覚めた……のかもしれない。

その後は幼なじみの神埼 竜斗とその師である赤川 恋二と出会い、行動を共にする。が、終始ヘタレ気味で周りに迷惑をかけていることを自覚して自己嫌悪に陥ったり、精神的に不安定な状態だった。

だが二回目の試練の際、マキナに自分が周りに依存し、やるべきことをやらなかったと指摘され、リュウトを助けるために奮起。自身の能力を最大限利用して格上のPKであるゲイツを撃退する。

適応力や頭の回転はマキナに『全プレイヤートップクラス』と言わせる程。

ただし身体能力や魔力はかなり低ランクで、特殊なスキルであるゲーム脳を活用することでそれを補っている。

スキル

コンティニュー：ランクA

死んでも一度限り蘇生可能。すでに使用済み。

ゲーム脳：ランクE？

自分のあらゆる行動をゲーム仕様に変える。

もこのもつとも特徴的なスキルで、極めて特殊なスキル。

その効果の範囲はもこ自身も検証中で良くわかっていないが、教わった魔法を一発で覚えたり、初めて手にしたポウガンで飛んでくるナイフを撃ち落としたりもできた。

これらは、RPGなら魔法は教えて貰えれば覚えられる（いちいち呪文の詠唱や意味の理解等をする必要が無い）シューティングゲームならポウガンの扱いを知らなくても撃てる。等のためである

魔法LV・1：ランクD

現在、ファイア（火を出す）ヒール（回復魔法）サイキクス（念動力）が使える。

ただし魔力量の関係であまり連発はできない。

神崎 竜斗（一章終了時点）

一章終了時点までのネタバレを含みますのでご注意ください。

神崎 竜斗 16歳

LV・17

1stジョブ 過守護者

2ndジョブ 武道家

3rdジョブ なし

スキル

過守護

拳闘術LV・5

料理上手LV・MAX

アイテム

スチールガントレット&レガース（特殊効果は無し。手に付いた竜鱗を隠すために常に付けている）

もこの幼なじみで彼女のことをもこ姉と呼んでいる。小学生の時にもこの両親が亡くなり、彼女が祖母に引き取られたことによって約五年の間、離ればなれになっていた。

ある理由で素晴らしい料理上手。異世界の見たことが無いはずの食材にもすぐさま順応してフィロが感動するほどの料理を作っていた。ただ本人はそこまでグルメという訳では無いようで、飴をよく舐めている。

性格は一言で表すなら変。一応、行動事態は理に叶っているのだがその行動から常識的な部分や感情的な部分が欠落していることが多い。(これは黒竜の竜人という種族に魂を入られたことによる副作用のようなのだが詳しくは後述)

もこと五年ぶりの再開の直後に胸をわしづかみにするなど常識とはかけ離れた行動を取ってしまい殴られる。だが本人にはまったく悪気も下心もいやらしい気持ちも無く、なぜ殴られたのかすらわからなかった。

この下心の無さが幸いか災いして、フィロを助けに行った際には紳士的な男性として取られてしまい、結果としてフィロに惚れられた。

自分の身を省みない行動が目立ち、戦闘の度に怪我をするがもこの回復魔法と竜人としての自身の凄まじい回復力であったという間に治ってしまったという模様。

それが『身を挺して女性を護っている』とフィロは取ってしまいさらに恋心は加速する……。

スキル

過守護：ランクA+++ E-

防御系最高峰のスキルで、守護対象への脅威を無効化する結果を展開する（マキナ曰く、使用者次第では隕石、ウィルス、敵意や殺意まで無効化できるらしい）現在は竜人としての破壊衝動を封じることにより全能力が使われており実質効果無し。これに関しても後述。

拳闘術LV5：ランクC

拳の技と攻撃力に+補正がかかる。

料理上手LV・MAX：ランクE

料理が上手い。作った料理の味に+補正。

【黒竜の竜人】

現在の竜斗の肉体。異世界に来る際にマキナによって『ラスボス的なキャラにしよう』とこの身体に魂を入れられた。

種族として最強クラスの戦闘力を持ち、本能的に強い破壊衝動を持つ。

だが竜斗が過守護の能力を持っていたために状況は変わる。

竜斗が護りたいものへの最大の脅威は竜斗自身の破壊衝動と力として過守護のスキルが発動、破壊衝動と力を封じ込めてしまった。

だが、心の根幹にある本能を封じたことは心全体に影響を及ぼし、結果として今の竜斗の状態になってしまった。

マキナによると、特に性欲等のもこに取って危険な感情が強く影

響を受けているらしく、現在竜斗はそれらに関する知識すら忘れて
いるらしい。

……もしいきなり元に戻ったらこれまでの反動でもこを襲いかね
ないらしいがはたして……？

フィロ(一章終了時点)

一章終了時点までのネタバレを含みますのでご注意ください。

もこが最初に出会ったNPC(ノンプレイヤーキャラ。要するに【デウス・エクス・マキナ】のゲーム世界の元々の住人)

狼人と呼ばれる種族で犬耳と首回りの綿毛のようなモフモフした毛、しっぽがチャームポイント。

非常に優れた嗅覚と聴覚を持ち、さらに魔法使いとしても優秀で性格もいいとなかなかハイスペック。

元は行商人の父親と行商の旅をしていたが人拐いに会い、奴隷砦に入れられていた時にもこと出会った。現在は帰郷を目指してもこ達と旅をしている。

奴隷砦で竜斗に助けられたことから彼に惚れている。が、竜斗があんな状態なのでまったく気付かれていない。

……ちなみにもうすぐ発情期らしく、いろいろな心配とほんの少しの期待を込めた目で竜斗を見ている。

NPCはマキナが現れる時や試練の時には眠ってしまい。さらにマキナの方で様々な帳尻合わせを行っているようで、もこ達が置かれている状況やマキナの存在はまったく知らない(というよりマキナのことを知っているNPCは極一部を除いてほとんどいない)

赤川 恋二（一章終了時点）

一章終了時点までのネタバレを含みますのでご注意ください。

赤川 恋二 ?歳（見た目は12歳前後）
LV・63

1stジョブ 武帝
2ndジョブ 英雄
3rdジョブ なし

スキル

武帝

英雄

一騎当千

アイテム

神龍の太刀（魔王討伐ボーナス。防御力を無視して攻撃できる）

天狗の下駄（魔力消費により敏捷性上昇）

もこがうつとりしてしまう程艶やかな長い黒髪に赤い着物の和風

少女。通称は恋ちゃん。元の世界では……おや？　こんな時間に誰か来たようだ。

竜斗の師匠で、凄まじいまでの強さを誇る。その実力は相手が油断していたとはいえゲーム初日で魔王を名乗る敵を倒すほど。さすがのマキナもあっけにとられていた。

竜斗と合流してからは行動を共にしており、竜斗の保護者的な立ち位置。

まるで老人のような喋りかたをするが時おり女の子らしいところも見せ、それがもこにはかわいいと評判である。

ちなみに寝る時は竜斗と一緒に寝ることが多く水浴びも一緒。だが女性と一緒に寝たり水浴びをしたりは顔を真っ赤にして激しく拒否する。

基本的に大人びているが根っこは年相応の少女で、性的な話等には赤面したりする。（ただ本人はそれに納得できてない模様）

スキル

武帝：ランクA+

剣術、拳闘術、練気術のLV・MAX　大きな+補正がかかる。

英雄：ランクS

魔王討伐ボーナス。自分の全ステータスを倍増させる。本来はチート級のスキルのだが彼女の元々の身体能力がかなり低いのでやや勿体ない。また、名声効果が付与され一部の人から無料で施し等を受け取れることがある。

一騎当千：ランクA

対多数で戦闘力に+補正。敵が多ければ多いほど効果が高い。また、戦闘で疲労しない。

白マキナ(一章終了時点)

一章終了時点までのネタバレを含みますのでご注意ください。

デウス・エクス・マキナ【白】(通称マキナor白マキナ)
LV・EX

1stジョブ 神

2ndジョブ 世界

3rdジョブ ゲームマスター

スキル

神の悪戯(チート オブザワールド)

アイテム

無し(神の悪戯の効果でいかなるものでも召喚できる)

見た目は白い長髪に紅い目をした少女。もこ達をゲームに参加させた張本人の一人であり、ゲーム世界の神を名乗っている。詳しい目的は不明。

能力はほとんど全知全能であり、息をするように瞬間移動や高度な召喚魔法を使い、時空間へすら易々と干渉する（作中では昼を夜まで一気に進め、さらにこのことをNPCに一切気付かせなかった）

性格は天真爛漫かつ自己中心的。プレイヤー達をゲームのキャラ程度にしか考えておらず、残酷な試練を与えて彼らが死んでいくのを楽しんでいる節がある（直接手を出してはいけないというルールが有るらしく、あくまで見てるだけ。しかし本気で嫌いなプレイヤーは別）

ただしお気に入りのプレイヤーは例外らしく、竜斗には度々ヒントを与えたりしている。

能力は間違いなく作中最強クラス。彼女に対抗できるのは他の色違いのマキナ達だけなので実質最強。……のだがルール違反を犯した時には他のマキナ達から力を封じられ酷いお仕置きを受けたらしい。

ちなみにデウス・エクス・エクスは創作用語ではご都合主義という意味。その名に恥じない無茶苦茶ぶりを発揮する。

スキル

神の悪戯：ランクEX

ゲーム世界のありとあらゆる事象を思うがままに操る能力。外の世界から連れてきたプレイヤー達までは思うがままにできないらしいが、プレイヤー側の持つスキルとは次元が違い過ぎるためいかにレベルが高かろうとまず勝ち目は無い。

今までにやったことの例としては、人や物の召喚、瞬間移動、不可視化、昼を夜に、斬り殺された数秒後にノリノリで蘇生等

リリー

二章終了時点までのネタバレを含みますのでご注意ください。

蒼竜の竜人の少女。母親と一緒に湖で静かに暮らしていたが【光の教団】という組織に母親を殺され、自身も重傷を負っていたところをもこ達に助けられる。

体に付いた蒼い竜鱗やヒラヒラしたヒレが特徴で、全力を出している時は人魚のような下半身が魚のような形体になる。

しゃべり方は少しぎこちなく一人称はぼく。気質は幼く寂しがりやかつ人見知り。

竜斗と竜の契りを交わしたことにより彼の力を制御する役目を担う。また、竜の契りには婚姻の意味も有るのだが……竜斗はその事にまったく気付いていない。

マキナにとって唯一無二の友達であり、リリーにだけは対等な友人として接している。

まだ子供なのでうまく自身の力を使いこなせないが、それでもかなりの力を持っており、水辺や雨天なら並大抵の相手なら蹴散らす

ことができる。

NPCではあるがマキナのやっているゲームの存在を知っており、本来NPCには参加できない“試練”に白マキナの手で竜斗の装備品になり参加している。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8676v/>

『神さまとゲーム脳と過守護な殺戮竜の物語』の登場人物紹介

2012年1月2日11時45分発行